

第10回講演会・講習会を開催！

8月21・22日（木・金）、今年は大阪府立生野聴覚支援学校とアウイーナ大阪を会場に、第10回講演会・講習会を開催しました。10周年記念大会となる今回は早瀬道場 塾長 早瀬憲太郎氏による「手話から日本語を育てる授業作り～私の視点と工夫～」また、記念講演として筑波技術大学 学長 大沼直紀氏による「私が聴覚障害教育を已めなかった訳」と題してご講演いただきました。1年に1度大阪の地で、活気あふれる講習会を10年間継続して、開催できたことは本会としてもうれしい限りです。また、講習会会場としていつも十分な対応をしてくださる大阪府立生野聴覚支援学校には、心より厚くお礼申し上げます。

写真や参加者のアンケートからの感想、10周年を祝う会の様子も含めて、第10回講演会・講習会を振り返りたいと思います。



～設立10周年記念講演会～

『私が聴覚障害教育を已めなかった訳』

講師：筑波技術大学

学長 大沼 直紀氏



聴覚障害教育に携わった経緯についてのエピソードに始まり、聾学校教員時代、アメリカ留学時代、帰国後の国立特殊教育総合研究所時代、医局時代、筑波技術短期大学から筑波技術大学時代の興味深いお話、また、それぞれの時代の恩師とも言うべき沢山の先生方との出会いやご縁についてのお話がありました。聴覚障害児の聴覚を最大限活用する教育オーディオロジーへの誘いから、様々な新しいパイオニア的な考えの導入とともに、この44年間はその研究、実践、評価、挑戦の繰り返しであったことを事例とともに詳細に述べていただきました。

聴覚障害児との出会いから、聴能教育に携わり、聴覚障害児や保護者に真摯に向き合い、いかにして子どもたちの聴覚活用をすすめていくべきか、聴覚は発達していくものであることを信じて取り組んできた44年間の足跡がわかりやすく整理されたお話でした。

いま、全国の聴覚障害教育に生かされている考え方や方法の原点が網羅された内容で、まるで、日本の聴覚障害教育の歩みを教育オーディオロジーという考え方からリアルタイムに再確認していくように感じられました。

それぞれの時代の流れの中で、課題が山積みの状態からも常に前進し、先を見通してご活躍され、多くの業績を残された先生が、さらにこの先を見据えての提言もあった意味深い講演会でした。講演時間があっという間でもっと今後のことをききたいと思いました。

『手話から日本語を育てる授業づくり～私の視点と工夫』

講師：学習塾「早瀬道場」塾長 早瀬 憲太郎氏

午前中の講演会はろう者のための学習塾「早瀬道場」の塾長で、NHKの「みんなの手話」の講師もされている早瀬憲太郎先生からご講演いただきました。

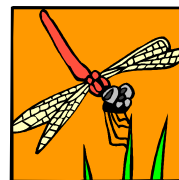
早瀬先生はろう者の立場から日本語の大切さ、ろうの子どもの持つ課題とその支援の方法について、表現豊かな手話や身振りで、ご自分の体験をもとにユーモアたっぷりに話していただきました。



答えを求めるだけでなく過程を大切にすることで、他者のコミュニケーションに気づき、自ら世界に関わろうとする力を育てることができる。また、一見伝えるべき必要性のないように思える、飲み会の断り方、けんかの仕方、女友達との別れ方からでも、人との接し方やコミュニケーションの方法を磨くことができる。など、示唆に富むお話ばかりで、いつまでもお話を聞いていたいと思わせるような充実した講演でした。

アンケートから

～講習会について～



「教育オーディオロジーの基礎」

聴力検査について本当に基本的なところから丁寧に説明していただき、よくわかりました。校内の新転任研修でも聞かせて頂いていますが、これほど長い時間をかけて少人数のグループで機械を実際に触らせてもらうことはできないので、参加してよかったと思いました。



F M補聴器の活用

「聞こえの仕組みと知っ得基礎知識」

基礎的な学習を分かりやすく説明していただき、ありがとうございました。オージオグラムの見方、検査の方法、聞こえに対する評価等普段の関わりで気をつけた方がよい点も意識することができました。補聴器管理も具体的な方法が聞けてよかったです。



人工内耳（基礎）

「聴覚生理」

時代とともに、新しいこともどんどん取り入れていかないといけないという必要性を強く感じました。教育的な立場と、医学的な立場では、考え方も違うので、教育と医療（福祉も）との情報交換できる場がもっと増えればよいと思いました。

「通常学級における支援」

自分もまだまだ未熟者ですが、それゆえ、学校、管理職、まわりの先生、健聴児童への説明がとても難しいです。それに対するヒントになる具体的なお話がいろいろあったので2学期からさっそくやってみようと思います。



情報保障

「言語指導（乳幼児期）」

言語指導の講習では、事例に基づき、乳幼児期に大切な支援をお話していただき、とても勉強になりました。特に「お母さんの気持ちをつもりにならない」ということばは、とても納得しました。これからの保育の中で保護者対応をもう一度考えていこうと思います。

「人工内耳（応用）」

人工内耳のお話は、くり返しきくことが大切だと思っています。少しずつ身につくと思います。応用編では、井脇先生の思いがピンピンと伝わりうれしく感じました。内耳をとりまく現場での交流をもっとしていく必要を感じています。

「高等部の自立活動」

高等部の自立活動の内容に関心があり参加させていただきました。さすがに高等部ともなると、どう生きていくのかがテーマになりますね。現在小学校勤務ですが、小学校段階では、何でもいから自分に自信を持たせることが大切かなと感じました。自立活動の内容と、組織としてどう取り組むかの2方面から学ばせていただきました。

「難聴学級の取り組み」

私は小学校の難聴学級を担任していて、普段から「言語力をいかに上げるか?」「障害認識をいかに高めるか?」になやみつつ取り組んでいるので、足立先生のお話などは、とても参考になります。この4年間、この講習会で得たヒントからいくつも実践してきました。

「聴覚学習」

子どもたちの喜びそうな音遊びをいろいろ紹介して頂き、大変よかったです。聴力の良い子も厳しい子も、みんなと一緒に楽しめる音遊びをもっと保育に取り入れられたらと思いました。ありがとうございました。

「語音検査」

語音検査は必要と感じていましたが、実施するのは難しいと思いきこんでいました。実際はそうではなく、肉声であれ、やることに意味があるとわかりました。母音で50%以下であれば補聴器のフィッティングの見直しが必要といわれドキッとしました。子どもたちのきこえをもっと知ろうとする気持ちを持たなければと思いました。

「デジタル補聴器と特性」

リニア、ノンリニア、ニーポイント、圧縮率など今まであやしかった知識がクリアになり、スッキリしました。わかりやすかったです!!

その他、たくさんの感想をいただきました!



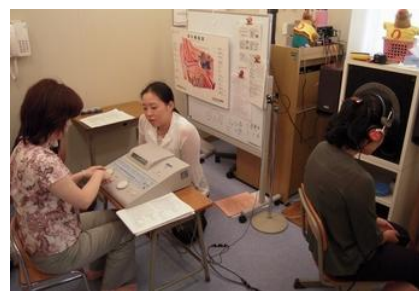
語音検査



心理検査の方法と活用



言語指導（小～高）



教育オーディオロジーの基礎

設立10周年を祝う会

10th anniversary

講演会の後、同じ会場で「設立10周年を祝う会」が開かれました。深田会長の挨拶のあと、中井事務局長から10周年記念誌をもとに、設立の経緯、設立当初の講演会・講習会の様子、10年間の会員の推移など、当時の写真を交えながら説明がありました。

そのあと場所を移して懇親会が催され、津田宏子先生、緒方順子先生からお祝いのあいさつをいただきました。会には近畿地区の校長先生にも多数参加いただき。和やかに思い出話に花が咲きました。そして最後に中井事務局長の胴上げで会はお開きとなりました。



今後の活動計画

平成20年11月1日(土)

第2回代表委員会および専門研修会

秋の講演会(味覚糖UHA館)

『発達障害のある聴覚障害児の実態把握と支援』

濱田 豊彦先生(東京学芸大学 准教授)

12月中旬

冬の学習会案内、機関紙26号発行

平成21年 1月23日(金)

第3回代表委員会および専門研修会(京都府立聾学校)

24日(土)

冬の学習会(京都テルサ)

講師 杉内 智子先生(関東労災病院 医師)

平島 ユイ子先生(福岡市立博多小学校)

京都市南区東九条下殿田町70番地

tel:075-692-3400 fax:075-692-3402

3月中旬

集録の発行・機関紙27号発行

各地の研究会情報

詳細についてはそれぞれのホームページ等もご覧ください

第6回日本教育オーディオロジー研究会

日時:平成20年10月18日(土)

9:30~受付

10:00~11:40 研究報告

12:30~総会

13:00~講演

「乳幼児の補聴器装用等、初期指導
や保護者支援の在り方」

講師:筑波大学 廣田栄子氏

詳細はHPでご確認ください。

場所:広島市文化財団アステールプラザ

問い合わせ:研究会事務局

FAX:089-946-5211

学校公開のご案内

学校公開のご案内です。必ず該当校
で詳細を確認の上、ご参加ください。

★京都市立二条中学校難聴学級

日時:11月18日(火)

14:15~授業参観

授業参観終了後に説明会

締め切り:11月7日(金)

問い合わせ:難聴学級 高井

TEL:075-821-1196

FAX:075-821-1197

★こばと聴覚特別支援学校

日時:10月26日(日)

9:20~受付

9:40~公開保育

※前日まで電話、ファクス、メール
で申し込み。

※写真、ビデオ撮影は禁止。

問い合わせ先:

TEL:0798-53-5061

FAX:0798-53-5062

★京都府立山城高等学校

日時:10月4日(土)

①13:00~13:50 全体説明会

②14:40~15:30 全体説明会

(同様の内容で2回実施)

聴覚障害教育相談も実施

①13:50~14:30

②14:40~15:20

③15:30~16:10

※当日授業公開はしませんので、
別途ご相談ください。

問い合わせ:教務部まで

TEL:075-463-8261

★兵庫県立神戸聴覚特別支援学校

日時:10月15日(水) 幼・中

16日(木) 保・小・高

両日とも 9:25~12:30

締め切り:10月10日(金)

問い合わせ:教頭まで

TEL:078-709-9301

FAX:078-709-0371

★大阪府立堺聴覚支援学校

日時:11月19日(水)

20日(木)

両日とも 9:30~12:30

授業見学、教育相談、説明会(小)

問い合わせ先:

TEL:072-275-5471

FAX:072-257-3310

★京都府立聾学校

日時:11月20日(木)

9:20~12:20

対象:聴覚障害教育に関わる関係者
(児童生徒・保護者は対象外)

締め切り:10月24日(金)

問い合わせ:副校長まで

TEL:075-461-8121

FAX:075-461-8122



近畿教育オーディオロジー

研究協議会事務局

〒639-1122

奈良県大和郡山市丹後庄町456

奈良県立ろう学校内

事務局長 中井 弘征

TEL:0743-56-2921

FAX:0743-56-8833

メール:h-nakai@indigo.plala.or.jp